

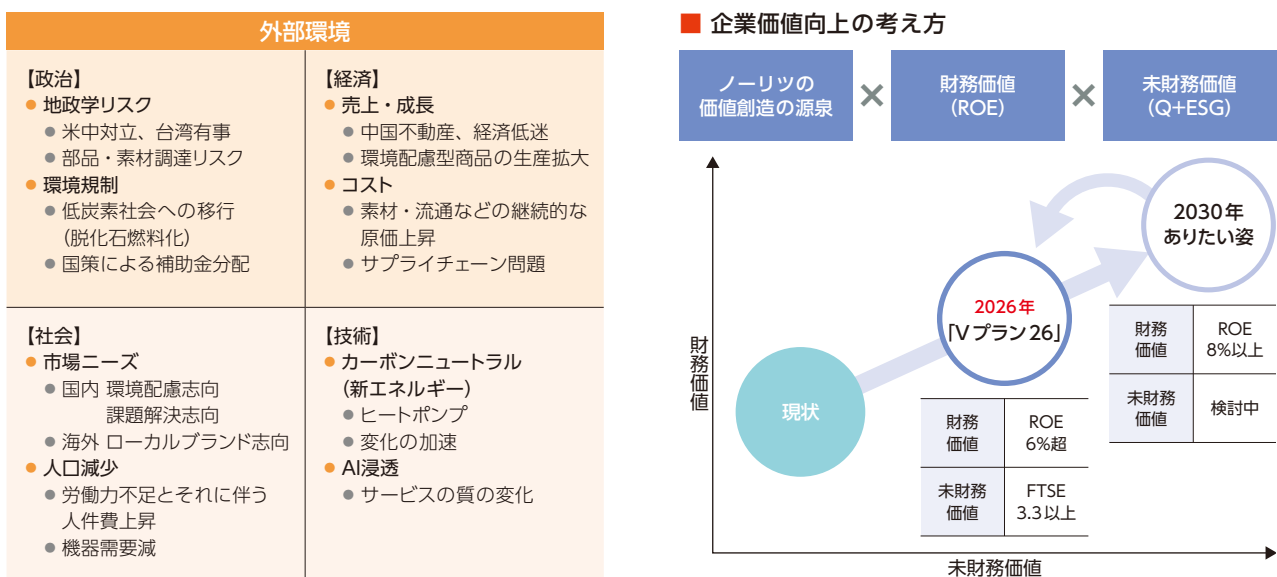
中期経営計画「Vプラン26」概要と進捗

経営目標

ROE6%超、FTSE ESGスコア3.3以上を目指す

2030年ありたい姿からバックキャストして策定した中期経営計画「Vプラン26」では、「財務価値」と将来の財務価値につながる「未財務価値」の2つの軸で、企業価値向上を目指しています。財務価値の指標にはROE6%超、未財務価値の指標にはFTSE ESGスコア3.3以上を掲げ、これらを実現するため、重点戦略である「事業ポートフォリオの変革」「戦略投資の拡大と資本政策」「サステナビリティ経営の推進」に取り組んでいます。

なお、業績計画については、昨今の外部環境の変化に鑑み、売上高を2,100億円、営業利益を45億円に見直しております。



中期経営計画「Vプラン26」進捗状況

重点戦略

2

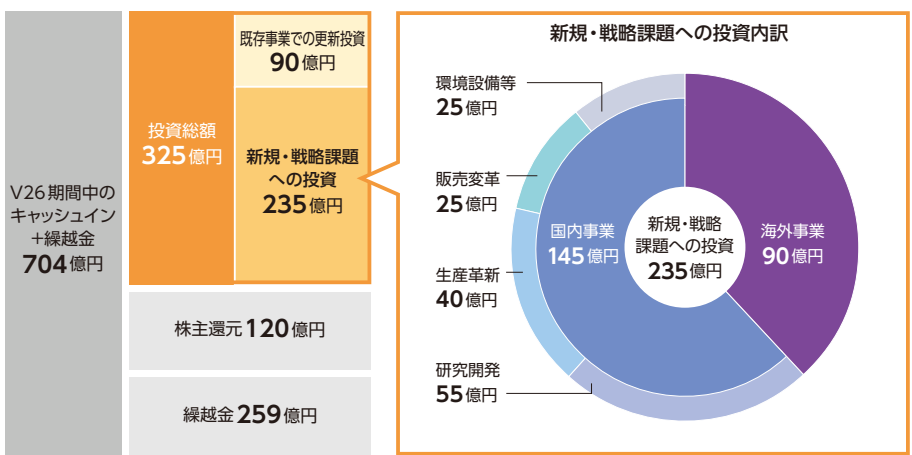
戦略投資の拡大と資本政策

① 成長投資

業績計画を見直しましたが、3年間の投資総額325億円は当初計画の通り、主に設備投資に振り向けます。そのうち235億円をスマートファクトリーに向けた生産革新や海外の新施設建設など、「戦略課題・成長事業」に投資することで持続的な成長を目指します。

2024年は約104億円の設備投資を行いました。2025年は110億円の投資を計画しています。

■ 投資計画



■ 戦略投資

国内事業		
マテリアリティ1 2 3 4 6		
分野	投資額	取り組み
研究開発	55億円	カーボンニュートラルに向けた環境配慮型商品の開発や生活の質を向上する社会課題解決型商品の開発を進め、付加価値のある製品を展開します。
生産革新	40億円	スマートファクトリー実現に向け、生産ラインの自動化を進めます。
販売変革	25億円	サービス事業の基盤を再構築し、デジタル活用やIoTによるお客さまとのつながりを強化し、製品やサービスで価値を提供します。
環境・IT	25億円	RE100達成に向けた環境設備や、デジタル化に向けたIT関連の整備に投資します。

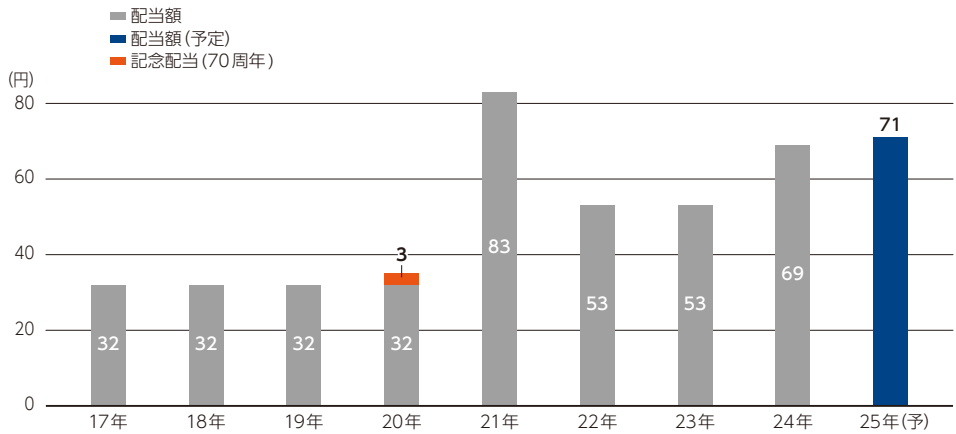
海外事業		
マテリアリティ2		
エリア	投資額	取り組み
中国エリア	90億円	イノベーションセンターを建設し、自立的成長のための生産・開発力強化することでバリューチェーンすべてを中国で賅える体制を構築します。
北米エリア		低炭素社会を実現するタンクレス給湯器の拡販に向けて全一次給湯器を新たに投入し、市場を拡大します。
豪州エリア		設備投資による品質向上と原価改善を行います。タンク製品のマザー工場化を進めます。
東南アジアエリア		エリアニーズに合致した温水機器・厨房機器の開発に投資し、東南アジアでの事業を創出します。

② 資本政策

● 株主還元策の強化

連結配当性向50%もしくは連結純資産配当率(DOE)2.5%のいずれか高い方を目標とします。2024年は年間69円の配当を実施しました。2025年は年間71円の配当を予定しています。

また、資本構成の改善による資本効率の向上と株主還元の強化を図るため、2025年に20億円を上限とする自己株式の取得を行います。



● 政策保有株式の縮減

2023年12月末連結B/Sの保有金額と純資産割合25%を2026年12月までに純資産比率で20%未満とし、売却資金を成長投資に活用します。

2024年は政策保有株式3銘柄(期首時価20億円相当)を売却しましたが、期末に残存する有価証券の時価が前期末より約45億円増加したことにより、政策保有株式の純資産比率は前期末と変わっておりません。

	2023年12月末	2024年12月末
保有株式(億円)	305	329 45億円上昇
純資産額(億円)*	1,219	1,319
純資産比(%)	25.0	25.0

※純資産額から非支配株主持分等を控除した自己資本金額を記載しております。

● 自己株消却を実施

2026年末で発行済み株式総数の5%を残し消却します。

中期経営計画「Vプラン26」進捗状況

重点戦略 3 サステナビリティ経営の推進

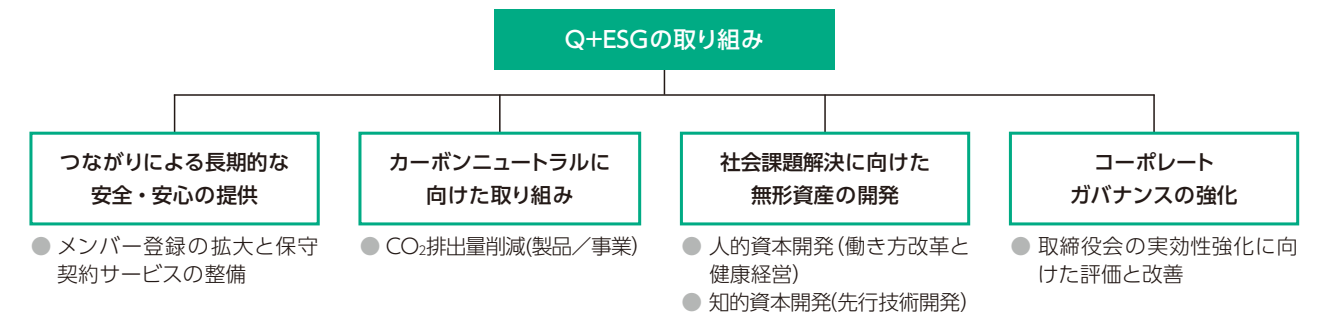
ノーリツグループのミッションを実現するためには、会社の持続的な成長だけでなく、社会全体の発展が不可欠です。ステークホルダーからどのようなことを期待・要請されているかを意識し、企業価値を向上するために「Q+ESG」を未財務価値の構成要素であると捉え、「どのように応え、取り組んでいくか」を考え、実践しています。



ノーリツグループが重視するSDGs

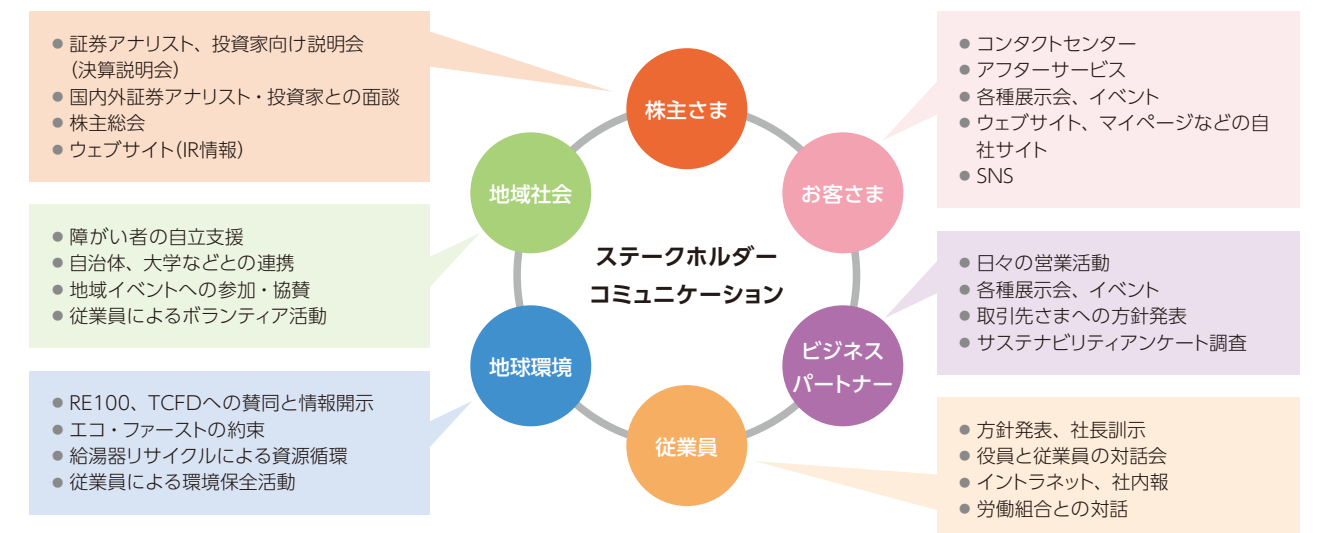


Q+ESG の取り組みとマテリアリティの関係



■ ステークホルダーコミュニケーション

ノーリツグループは自社への要請や期待を確認し、ステークホルダーの皆さまとのエンゲージメントを向上させるため、積極的な情報開示やコミュニケーションを行っています。



■ 社外からの評価



FTSE Blossom Japan Index

FTSE Blossom Japan Index
ESGへの優れた対応を行っている日本企業を評価して選定するインデックスです。
ノーリツは2023年より選定されています。



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
各セクターにおいて、相対的にESG評価の高い日本企業のパフォーマンスを測定するために設計されたインデックスです。
ノーリツは2022年より選定されています。

サステナビリティに関する体制・報告はQ・E・S・Gのカテゴリでウェブサイトを開示しています。
<https://www.noritz.co.jp/company/csr/>



【Vプラン26】サステナビリティ経営 マテリアリティ

マテリアリティ 1 つながりを中心とした顧客価値最大化

インターネットやIoT技術が進歩したことで、お客さまへの情報提供がよりスムーズになっています。ノーリツとお客さまが双方向につながることで、安全で安心、そして快適な暮らしを支えます。

■ お客さまとのつながりを深化させる N2C の問い合わせシステムを導入

ノーリツコンタクトセンターでは、年間約100万件のお客さまからのお問い合わせ・修理を受け付けています。従来のデータベースから、新たにN2C (Noritz to consumer) の問い合わせシステムを導入することにより、お問い合わせ対応に必要な情報の集約と自動化を実現しました。

ノーリツグループでは、点検・修理などで複数のシステムを利用しており、これを一元化することで様々なリスクの解消を目指します。

今後は全社共通のデータベースを基に、次世代サービス構築の展開を目指します。



N2Cシステム画面

■ 給湯器長期利用サービス「湯〜Pay」

環境に配慮した給湯器を、初期費用を抑えかつ利用料金のみで手厚いアフターサポートが受けられる給湯器長期利用サービス「湯〜Pay」の展開を開始しました。月々の利用料金をお支払いいただくことで、最長20年間給湯器をご使用いただけます。

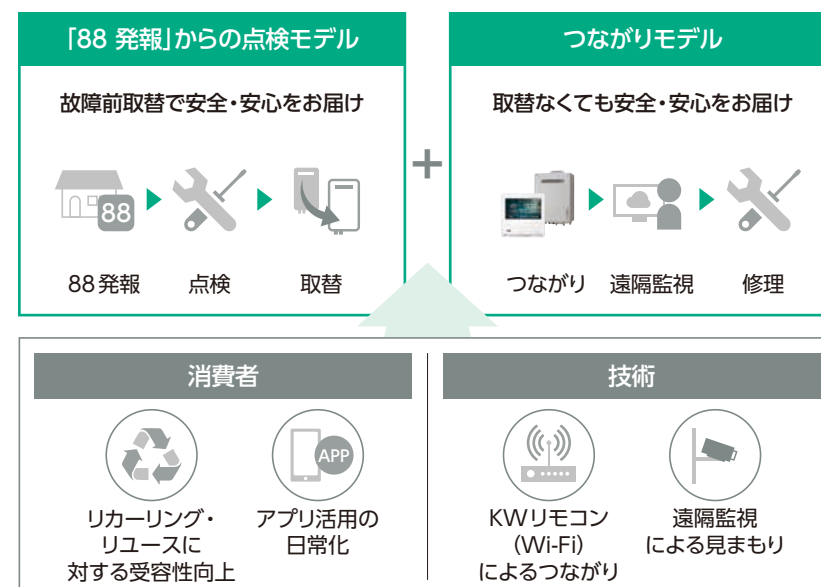
また、IoTの仕組みを利用してノーリツが機器の不具合を見まもり、契約終了時には機器を再資源化するため、環境にも配慮したサービスです。



■ “つながり”で、安全・安心を提供しています

経年劣化による事故や故障を未然に防止するため、ほぼすべての給湯機器に使用から10年で「88」のコードが発報する「点検お知らせ機能」を搭載しています。点検により機器の状況を確認し、故障する前に機器を取り替えることで、安全・安心をお届けしています。今後はお客さまとノーリツがIoTでつながることで、より安全に使用していただけるサービスを実現していきます。

業務用においては、国内・海外の施設に応じた保守契約を結ぶことで定期点検などを行い、ダウンタイムの発生を防いでいます。



マテリアリティ 2-1 カーボンニュートラル／社会課題対応（国内）

ノーリツグループの製造した製品や事業活動から排出されるCO₂は、日本全体の約1.4%を占めています。この削減に取り組むことは、当社の社会的責任であると同時に、新たな価値創造の機会であると捉えています。

2050年に向けた政府のカーボンニュートラル宣言など、環境問題への対応がますます重要になる中、ノーリツグループは、CO₂を排出する温水機器や厨房機器を取り扱う企業の責任として、CO₂排出量の削減が最大の課題であると考

えています。同時にこの流れを機会として捉え、様々なエネルギーを視野に入れた環境配慮型商品の開発・製造・販売を通じて、豊かで快適な暮らしを提供するとともに、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを加速していきます。



※1 国立環境研究所「温室効果ガスインベントリ 日本の温室効果ガス排出量データ」2023年速報値

■ ヒートポンプ給湯機を拡充

2024年6月、ノーリツブランドでのヒートポンプ給湯機を発売しました。2050年に目指すカーボンニュートラル社会においても、お客さまに家庭のインフラである「お湯」を提供しつづけるために、環境配慮型商品のラインアップ拡充を図っていきます。



人の幸せの原点は日々の生活です。
そこにある様々な社会課題を解決することで、
心の豊かな暮らしを創造します。

目標 (2024年度→2026年度)
社会課題解決型商品 販売構成比 32.1% → 37%

■ 浴室キレイ機能搭載の浴室暖房乾燥機「シャーン」で、日々のおふろ掃除の手間を軽減

ノーリツは、豊かな暮らしと地球への貢献を両立できる社会の実現を目指して、新技術を開発、実装した商品・サービスを展開しています。

2024年9月には、オゾン水除菌ユニット“AQUA OZONE (アクアオゾン)”を活用し、浴室キレイ機能を搭載した浴室暖房乾燥機「シャーン」を発売しました。スイッチを押すだけで日々のおふろ掃除の負担を軽減できる当商品をはじめ、「おふろ掃除は機械に任せる」という新しい習慣を推進していきます。



【Vプラン26】サステナビリティ経営 マテリアリティ

マテリアリティ

2-2 カーボンニュートラル／社会課題対応（国内非住宅）

温泉施設や病院などには、環境負荷の高いボイラーが設置されている場合が多く、住宅分野に比べてCO₂削減が進んでいません。自社のコア技術の展開を通して、非住宅分野の事業領域を拡大しCO₂排出量削減に貢献します。

非住宅分野の事業領域には、ホテルなどの人がお湯を使うことに対してサービスを提供する“対人施設”と、農業や工業などの“非対人施設”があります。ノーリツグループの得意としている小中規模対人施設へのさらなる付加価値の提案と、

それ以外の領域の施設へ強みを活かした最適なソリューションを提案することで、カーボンニュートラルや人手不足などの社会課題を解決し、「なくてはならない」を届けつつけます。

目標（2024年度→2026年度）

事業拡大によるCO₂削減貢献量*27.9万t-CO₂ → 33万t-CO₂※既存のボイラーから高効率な給湯器へ取り替えた場合削減できるCO₂の量

■ 業務用では業界初の屋内型エコジョーズを発売

寒冷地など屋外に給湯器を設置できない飲食店などの小型店舗では、これまで業務用屋内型エコジョーズのラインアップがなかったために、環境に配慮した給湯器の設置ができませんでした。業務用では国内業界初の屋内型エコジョーズ（ただしフード設置タイプを除く）を発売し、屋内の業務用施設でもカーボンニュートラルを進めることができるようになりました。

ガスの消費量が多い業務用給湯分野において、ボイラーから熱効率95%を誇る高効率給湯器への取り替えを進めることで、CO₂削減貢献量を通じたカーボンニュートラルの実現に貢献します。



■ 熱ソリューション事業で、お客さまの要望と社会課題解決を両立していきます

ノーリツが展開する熱ソリューション事業では、「排熱回収ユニット」や「アクアポニックス（循環型農業）※」における加熱冷却システム」など、未利用熱を有効活用した「脱炭素」と「省エネ」を提供価値として、ノーリツのコア技術+αでシステムを具体化し、様々なお客さまに提供しています。

たとえば、「排熱回収システム」では本来ドレン水として排出される排熱を回収し、当社のコア技術を活用して温度、熱量、汚れを適切にコントロールすることで給水を予熱しています。

また、「アクアポニックスにおける加熱冷却システム」では、熱交換器に支障のある汚れや異物を取り除くことで、高効率な熱交換を可能にするシステムを提供しています。

これからもお客さまの要望と社会課題解決を両立するソリューションを生み出していきます。

※ 水産養殖の「Aquaculture」と水耕栽培の「Hydroponics」からなる造語で、従来の水産養殖と作物の水耕栽培を組み合わせた、魚と野菜を同じシステム内で一緒に育てる生産システム



マテリアリティ

2-3 カーボンニュートラル／社会課題対応（海外）

世界的にカーボンニュートラルの取り組みへの関心が高まっています。日本で培った高効率給湯器の技術力を強みにCO₂排出量削減に貢献します。

目標（2024年度→2026年度）

事業拡大によるCO₂削減貢献量*339.2万t-CO₂ → 400万t-CO₂

※既存の給湯機器から当社グループ製品へ取り替えた場合削減できるCO₂の量

■ 【北米】環境にやさしい高効率給湯器を4年ぶりにフルモデルチェンジ

北米で給湯器の環境規制が強まり、高効率化が加速する中、2024年11月に新たな高効率給湯器を発売しました。北米での高効率給湯器は2017年に第1世代、2020年の第2世代を経て、今回第3世代として4年ぶりのフルモデルチェンジとなります。環境や効率規制の厳しい北米において、

カーボンニュートラル実現のための基軸として高効率給湯器を展開しています。

高効率給湯器(第3世代)“EZ PRO”



■ 【北米・豪州・中国】各国でヒートポンプ給湯機を発売

カーボンニュートラル実現に向けた取り組みの一環として、国内と同様海外でもヒートポンプ給湯機の品揃えを強化しています。

北米エリアでは“ECOTOUGH”、豪州エリアでは“ecosmart”と、両エリアともに家庭用のヒートポンプ給湯機を販売しています。また、中国エリアでも2024年にヒートポンプ給湯機を発売し、いずれも好評をいただいています。

当社グループはカーボンニュートラル社会に向けた取り組みを推進し、あらゆるエネルギーに対応していきます。



北米、豪州、中国で発売したヒートポンプ給湯機

■ 【北米】業務用ラックシステムで現場の効率化に貢献

北米エリアでは、施工性が高く現場の労力を大幅に削減できる、業務用組立タンクレスラックシステムを販売しています。現場のスペース、必要能力に合わせ商品をラックに組み込んだ状態で納入することが可能で、迅速で円滑な設置ができるため、商業施設を手掛けるお客さまなどから評価を得ています。

今後もお客さまの課題に応えるソリューションを提供していきます。



業務用組立タンクレスラックシステム

【Vプラン26】サステナビリティ経営 マテリアリティ

マテリアリティ



3

カーボンニュートラル・資源循環促進による自然資本開発

製品の製造には多くのエネルギーを消費します。生産量が増えてもCO₂排出量を増やさずに削減することが大きな課題となります。省資源・資源循環など、限られた資源の有効活用に取り組みます。

ノーリツグループは「RE100[※]」に加盟しており、2050年までに海外グループ会社を含む全事業所で使用する電力の再生可能エネルギー100%化を目指して取り組みを進めています。また、給湯器リサイクル事業を通じた資源循環の取り組みを進めています。2050年までに事業活動

でのCO₂排出量実質ゼロを目指すとともに、製品・事業活動を通じたサーキュラーエコノミー社会の実現に向けて、国内の廃棄物発生量（2018年比）を2030年までに40%削減することを目指します。

※ 事業活動で消費するエネルギーについて、100%再生可能エネルギーで調達することを目標とする国際的イニシアチブ

目標(2024年度→2026年度)

RE100達成 **明石本社工場**
製品リサイクル **6.6万台 → 15万台**

■ 森林カーボン・オフセットの取り組みが評価され、林野庁「グリーンパートナー2024」に認定

ノーリツは、環境配慮型商品である「ハイブリッド給湯システム」「ガスふろ給湯器GT-C72シリーズ（オートタイプ除く）」の生産時に排出されるCO₂、および給湯器リサイクル事業を実施している事業所においてエネルギー使用時に排出されるCO₂を対象として、森林カーボン・オフセットを推進しています。

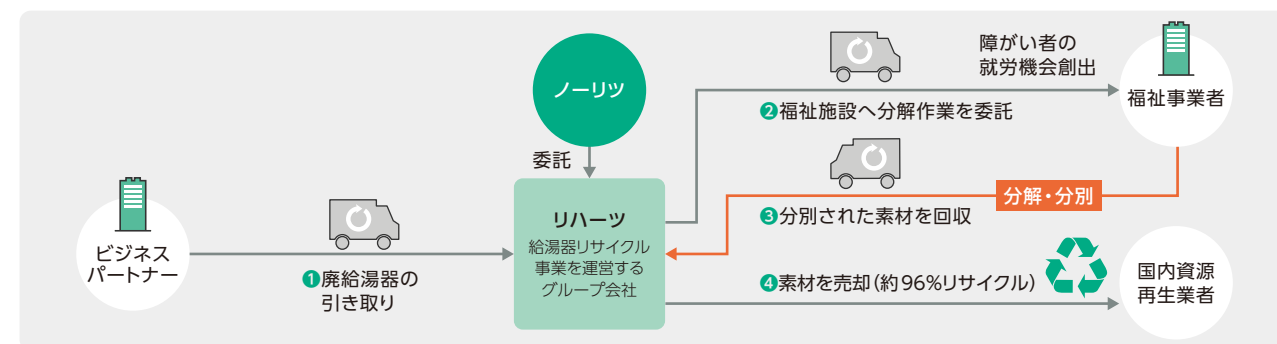
今回、J-クレジット制度[※]を活用した兵庫県での森林カーボン・オフセットの取り組みが評価され、林野庁より「グリーン

パートナー2024」に認定されました。今後も製品・事業活動の分野において環境配慮の取り組みを推進し、カーボンニュートラル社会の実現および生物多様性保全に貢献していきます。

※ 省エネルギー機器の導入や森林経営などの取り組みによる、CO₂などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度



■ 障がい者の就労機会を創出するノーリツ独自モデルで、給湯器リサイクルを推進します



ノーリツグループは、資源の持続可能な利用を促進する給湯器リサイクルに2011年から取り組んでおり、サーキュラーエコノミー社会に貢献しています。この活動では、特例子会社[※]エスコアハーツのグループ企業であるリハーツが、ビジネスパートナーから使用済みの給湯器を回収し、福祉事業者に分解・分別を委託することで、障がい者の就労機

会を生み出しています。2024年は6.6万台の給湯器をリサイクルしました。今後もこの取り組みを広げていきます。

※ 障がい者の雇用促進と安定を図るために設立された会社



障がい者の社会参加に向けた自立支援活動
“人に笑顔”プロジェクト

マテリアリティ



4

事業拡大に向けた知的資本開発

ノーリツグループの価値創造の基盤は、過去から培ってきた「技術」にあると考えています。さらに、持続的成長にはステークホルダーからの信頼が重要だと考えています。

多様化するニーズに応え、新たな価値を創造するために、これまで培ってきたコア技術「燃焼」「熱交換」「流体制御」に加えて、新たな技術やアイデアの融合が不可欠です。

目標(2024年度→2026年度)

カーボンニュートラル・ウェルネス等の新技術獲得数 **0件 → 5件**
ブランド戦略サーベイ **580 → 585**

社内外の垣根を超えたオープンイノベーションを進め、さらなる価値を創造していきます。

■ 水素燃焼技術を活用した実証実験

ノーリツグループは、水素エネルギーの社会実装に向けた取り組みを強化しています。豪州では、西オーストラリアを中心としたエネルギーインフラ会社であるATCO社と連携し、水素100%燃焼の家庭用給湯器の実証実験を2024年12月から開始しました。また、神戸市と神戸市立工業高等専門学校（以下、「神戸高専」）との産官学連携協定を2024年6月に締結し、神戸高専での水素燃焼技術を活用した実証実験や、次世代技術者の育成を進めています。

2050年のカーボンニュートラル社会の実現を目指して、オープンイノベーションを活用した技術革新と市場導入の加速を図っていきます。



ATCO社と連携協定

■ 水素給湯器の世界共通ブランドロゴを策定

国内外で統一した水素給湯器のブランドロゴを策定しました。従来の給湯器と見分けがつきにくい水素給湯器に独自のブランドロゴを刻印。国内外で一貫した展開により、環境課題に真摯に取り組む姿勢を世界に発信していきます。

Design Concept:

水素分子の構造を模した二つの球体からなるアイコンは、宇宙から見た地球の色であるブルーとグリーンの二色で構成し、循環型でサステナブルな本製品の可能性を表現。アイコンの柔らかな印象を受けて、タイポグラフィはHの横棒を曲線とし、豊かな地球環境を未来につながるイメージを表す。



■ 「+do (プラスドゥ)」が「心豊かな未来の共創」に貢献

“料理をすることを楽しむ”をコンセプトに、東京ガス株式会社と共同開発したガスビルトインコンロ「+do (プラスドゥ)」が、「JIDAデザインミュージアムセレクション」[※]に選定されました。このような未財務価値の創造を通じて、今後も新しい幸せをわかしていきます。

※ 公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会(JIDA)が主催する表彰制度で、「心豊かな未来の共創」をテーマに、優れたインダストリアルデザインを選定し、収集・保管によって次世代に伝えることで日本文化の高度化に貢献することを目的とする



ガスビルトインコンロ「+do (プラスドゥ)」

【Vプラン26】サステナビリティ経営 マテリアリティ

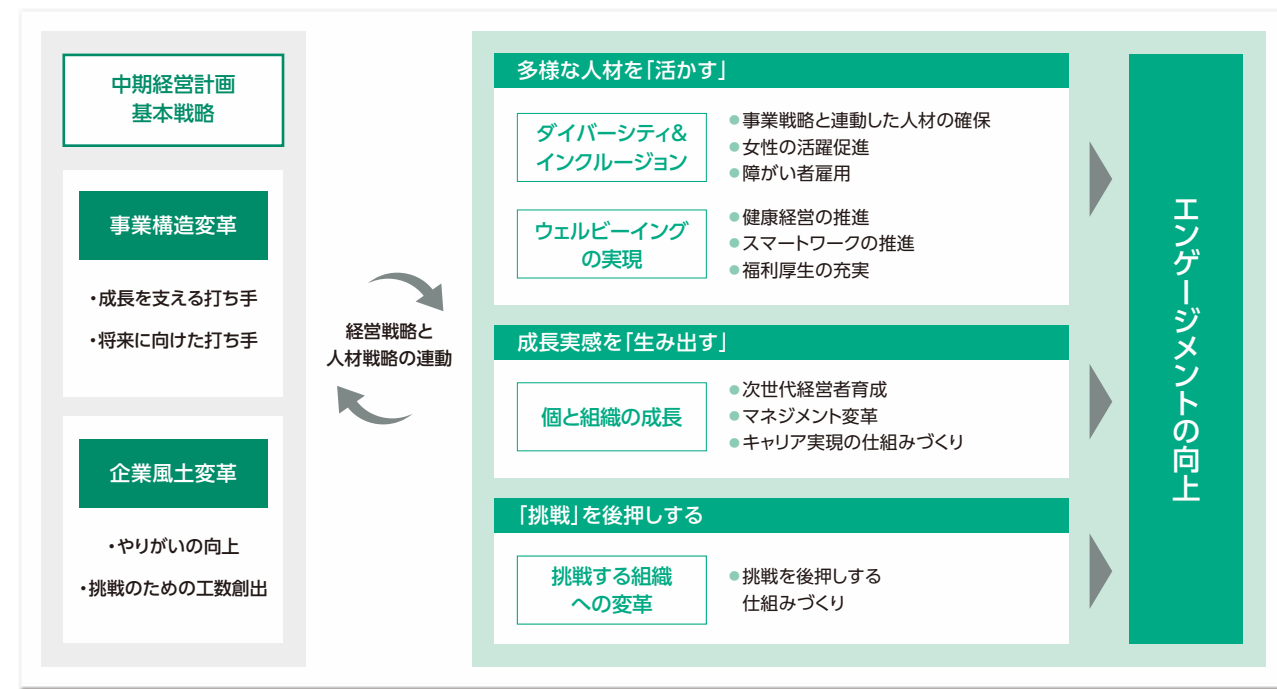
マテリアリティ 5 事業を支える人的資本開発

お客さまに最大の価値を提供し、サステナブルな社会の実現に貢献するためには「人的資本」、すなわち従業員が最も大切な資本であると捉えています。

人口減少による労働力不足や、人材の流動性の活発化をリスクと捉えています。「Vプラン26」では人材戦略を策定し、「多様な人材を『活かす』『成長実感を生み出す』」

「『挑戦』を後押しする」を重要なテーマとして掲げ、従業員のエンゲージメントを向上させる様々な人事施策に取り組んでいきます。

目標(2024年度→2026年度)
エンゲージメントサーベイ総合スコア
70 → **70**



ダイバーシティ&インクルージョンを進めます

女性・シニア・障がい者・外国人など、多様な人材の雇用や事業ポートフォリオに必要な人材の確保や活躍を推進し、個々の力を最大限発揮できるよう様々な取り組みを行っています。子育て中の従業員がより柔軟に働くことができるように、「育児短時間勤務」と「フレックスタイム」の両制度を併用できるよう就業規則の見直しを実施しました。その他にも企業主導型保育園のマッチングサービス「子育てみらいコンシェルジュ」や、男性の育児休暇取得支援のほか従業員全体の健康増進のため、社内独自のポイントプログラムを活用した「ポイントインセンティブ制度」を導入するなど、従業員一人ひとりの個性や強みを発揮できるよう職場環境の整備を進めています。



従業員のウェルビーイングを実現します

持てる力を最大限発揮するためには、従業員が心身ともに健康であることが不可欠です。当社では、持続的な成長を図るため健康経営を進めています。メンタルヘルス不調者を未然に防ぐためのストレスチェックのほか、健康増進・生活習慣病予防に向けた情報やツールの提供、「健康身体づくり」をテーマにした取り組みを進めています。

また、従業員のエンゲージメントをリアルタイムに測るツールを活用し、従業員も会社もベストコンディションで企業活動を行える仕組みづくりを進めています。



ノーリツ健康宣言

「新しい幸せをわかす」実現のため、社員一人ひとりの「健康」と「幸せ」を希求します。

「新しい幸せを、わかすこと。」ノーリツグループが真に追い求め社会に約束する存在意義です。「新しい幸せ」をお客さまに実感していただくには、それをお届けする当社の社員一人ひとりもまた「健康」であり「幸せ」であることが必要です。真意の「健康」とは、ただ単に「病気でない」ということではなく、身体的・精神的・社会的に良好であり、調和のとれた状態のことです。

会社・健康保険組合・労働組合が三位一体となって、支援・サポート体制を充実し、「新しい幸せをわかす」社員一人ひとりの「健康」と「幸せ」を追い求め、生き生き・ワクワクと働く社員がいっぱいの会社を目指します。

生き生き・ワクワク働く多くのノーリツグループ社員によって、「人と地球の笑顔に向けて暮らしの感動をお届けする」ことを宣言します。

個と組織をともに成長させていきます

従業員が中長期的なキャリアビジョンを描き、実現に向けて生き生きと取り組むことを支援するキャリア教育の一環として、2024年4月に「体験型グローバルキャリア研修」を実施しました。

海外駐在員とのWebセッションや国費留学生として来日する外国人とのグループワーク、セッションを行い、語学力だけでなく多様性を尊重するコミュニケーション能力や柔軟性、チャレンジ精神の重要性を認識できる研修となりました。

今後も、従業員のキャリア設計を支援する各種研修を実施していきます。



グローバルキャリア研修における駐在員とのWebセッション

挑戦する組織へ変革します

「Values(すべては挑戦からはじまる。)」を組織文化として定着させるために、2024年から評価制度にValues項目を設けて個人を評価する仕組みを構築しました。また、より優れた個人やチームの「挑戦」に対して、全従業員の投票によって称える「Values表彰」制度により、2024年は5組41名を選出、表彰しました。

個人やチームの「挑戦」に焦点をあて、従業員の「挑戦」を称えることで、挑戦する組織風土を根付かせていきます。



Values表彰の選出5組の代表者

〔Vプラン26〕サステナビリティ経営 マテリアリティ



マテリアリティ

6

DX 等による製造資本開発

デジタル技術を活用して生産現場を変革することは、
原価を引き下げただけでなく、多様な価値観が広がる中での
生産年齢人口の減少と、それに伴うワークライフバランスの実現など、
社会が直面する課題の解決にも寄与します。

進化するAIやロボティクス技術を活用して、2030年に
向けたスマートファクトリー化を推進し、製造現場における
労働力不足やワークライフバランスといった社会的課題の
解決を目指しています。現在、ロボットの導入やモジュー

ル設計などを通じて、ものづくり変革を進めています。ま
た、製造現場におけるDXの実現には、多くの従業員がデー
タやデジタル技術を活用する視点とスキルを持つことが不
可欠であり、そのための人材育成にも注力していきます。

目標(2024年度→2026年度)

ガス給湯器ライン 自動化率

70%

■ スマートファクトリーの実現を目指してものづくり変革に取り組みます

明石本社工場では、原価低減に向けたデータドリブン経営を推進するため、製
造オペレーション情報の統合管理システムを導入し、2024年12月から本格運用を
開始しました。製造現場に散在するデータを一元管理し、経営層から現場までを
シームレスにつなぐデータドリブン経営を推進していきます。ものづくり現場のDX
による業務効率化を図ることで、原価低減とともにバリューチェーン全体の品質や
生産性を向上していきます。あわせて、労働力不足やワークライフバランスの充実
など製造現場の課題も解決していきます。



生産実行システムと連携された自動検査ロボット

■ AIを活用した故障診断支援アプリの実証実験

ノーリツは、予測AIと生成AIによって機器の故障原因を診
断する実証実験を実施しました。DataRobot社の
Enterprise AI Suiteを活用して「AI故障診断支援アプリ」
を開発し、故障診断時間の短縮と、サービスエンジニアの経

験値に依存しない高品質なサービス提供を実現しました。

今後、対象製品の拡大や海外展開を視野に、さらなるサー
ビス品質の向上を推進します。

■ 「DX認定」事業者として、人材育成を推進しています

ノーリツは、経済産業省の「DX認定」を取得したDX認定事業者として、「ものづく
りシステムの再構築」と「お客さまとのつながりを重視する新しい販売モデルの構
築」による「データドリブン経営」を目指しています。また、社内のDX推進を支える
人材育成にも力を入れており、社内にAI活用人材育成を目的とした専用コミュニ
ティサイトを設けて情報提供を始めています。



DX認定